

年 組 名前：

# 100歳 日課の編み物40年

市川三郷・諏訪さん  
靴下3000足超を寄付



日課の編み物に取り組む諏訪初枝さん  
＝市川三郷町上野



深沢 澤

市川三郷町上野の諏訪初枝さん(100)は、40年近くにわたって編み物を続けている。これまでに製作した靴下は3000足を超え、町内の介護施設や東日本大震災の被災地などに寄付してきた。諏訪さんは「喜んでくれる人の存在が励み。まだまだ元気に続けていきたい」と意気込んでいる。

〈深沢澤〉

諏訪さんは1923(大正12)年11月、6人きょうだいの長女として旧市川大門町に生まれた。27歳のころに結婚して旧三珠町へ移住。4人の子どもを育てた後、60歳を過ぎるまで15年ほど、町内のニット製造業者でボタンの縫い付けなどの作業に従事した。退職後は編み物が日課になり、以来40年近くにわたって靴下や帽子などを作ってきた。裁縫の技術は、製紙業者に勤める両親に代わって年下のきょうだいの世話をする中で身につけ、幼少期から「周囲から『手先が器用だね』と言われる

足を超えたという。諏訪さんは「作った編み物を喜んで使ってくれる人の存在が励みになっている。まだまだ元気に作り続けたい」と話していた。

(2023年11月30日付 山梨日日新聞 20面)

問1 市川三郷町の諏訪さん(100歳)は、40年近くにわたって編み物を続けています。

これまでに何足ほど製作しましたか。

..... 足ほど製作

問2 靴下1足を編み上げるには、何日掛かりますか。

..... 日

問3 2011年から、岩手県に靴下を送り始めました。その理由を教えてください。

.....